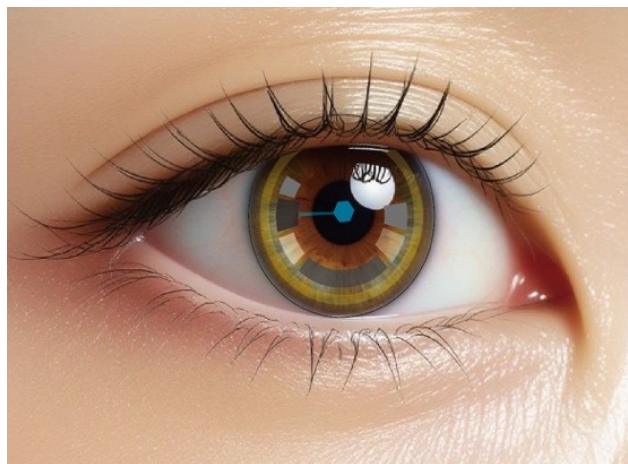


スマートコンタクトレンズコンソーシアム設立のお知らせ

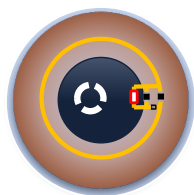
【趣旨】本コンソーシアムは、次世代の携帯型情報機器としてスマートコンタクトレンズの実現が期待されている状況を背景に、①スマートコンタクトレンズの研究開発の促進、②スマートコンタクトレンズの普及、③スマートコンタクトレンズに係わる業界標準の策定等の活動を行うことで、人々の豊かな生活を実現し、AI、情報通信、電気電子、医療・福祉など関連した産業分野の高度化を可能にすることを目的とする。



【スマートコンタクトレンズの応用】

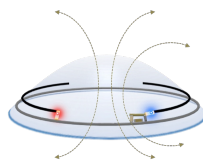
①AR/メタバース

AR(拡張現実)
ディスプレイ
ゲームなど



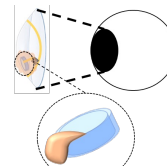
②ヘルス モニタリング

電気信号
生化学信号
光信号など



③診断・治療

緑内障
網膜症
ドライアイなど



【関連する産業分野】

製造：コンタクトレンズ、電子部品、ディスプレイ、半導体、光学部品、薄膜、材料、電池、フレキシブル材料など
サービス：VR・AR、メタバース、AI、モバイル通信、情報通信、コンテンツ、ゲーム、アプリ、娯楽など
医療：医療機器、スポーツ、ヘルスケア、リハビリなど

瞳の中から
日本を強く！

【背景】

- ・海外でのスタートアップの動向（UAE XPANCEO シリーズA 2億5000万ドル調達、米国Mojo Vision シリーズB 7500万ドル調達）
- ・スマートコンタクトレンズの世界市場予測 2030年に134億1,000万米ドル（グローバルインフォメーション社調査）
- ・IEC/TC110/WG12アイウェア・ディスプレイ・グループで標準化作業が開始
- ・日本人のコンタクトレンズ利用率 32.3% 女性・若者が中心（日本コンタクトレンズ協会2022年調査）
- ・NICT委託研究「ホログラフィックコンタクトレンズディスプレイを実現する革新的基盤技術の開発」（研究代表者：農工大）
- ・AMED医療機器等研究成果展開事業「失明予防に向けた医療用眼計測治療レンズに関する研究開発」（研究代表者：早大）

【活動内容】

最新動向調査、業界標準化検討、情報発信、展示会出展、勉強会、講演会、現場見学、会員間のリエゾン等

【運営】

参画機関：大学等（非営利）、企業
協賛金：年20万円以上（大学等は無料）

【今後の予定】

2025年10月 コンソーシアム発足、参画機関（会員）募集開始
2026年4月 コンソーシアム活動開始

【初期参画機関】（2025年10月現在）

東京農工大学、徳島大学、早稲田大学、株式会社シード、株式会社メニコン、シチズンファインデバイス株式会社、トヨタ自動車株式会社、株式会社ロボット、伊藤光学工業株式会社、Sensimed SA、山口大学医学部眼科学

本コンソーシアムに関する問い合わせ、参画希望の場合は、以下までご連絡下さい。

東京農工大学 スマートコンタクトレンズコンソーシアム事務局
（工学部・高木康博研究室内）

Email: smartcl@m2.tuat.ac.jp

ホームページ: <https://smartcl.org/>

